

令和4年度ハイブリッド型SSH 成果発表会 代表発表者決定



図1 ARⅡ最終発表会及びURⅠ分野別発表会の様子

3月9日(木)に実施する本校のハイブリッド型SSH成果発表会の各学年の代表者が表1のように決定しました。

1年生からは、理数科・英語科のARⅠ・GRⅠの活動紹介及び各学科の特性を生かした調査につ

いて発表が行われます。さらに、普通科URⅠからは、今年度新たに開設されたアントレプレナーシップ分野を含む2本の発表が行われます。

2年生からは、まず普通科文系と英語科の代表による発表2本が行われ

ます。その後、審査対象となる、普通科理系の数理探究2本、理数科のARⅡ2本、また自然科学部による発表が行われます。

Ⅲ期SSHの最初の成果発表会です。3学科2学年にわたる多様なテーマの発表にご期待下さい。

表1 令和4年度ハイブリッド型SSH成果発表会代表一覧

No.	課題研究科目	分野・班	発表テーマ
1	ARⅠ	—	ARⅠ活動紹介・先行研究レビュー
2	GRⅠ	—	GRⅠ活動紹介・課題研究紹介
3	URⅠ	アントレプレナーシップ	買い物方法に新形式?
4	URⅠ	文学	日本と英語圏の恋愛ソングの歌詞の表現について
5	総探	社会科学	すべての子供が平等に保育を受けることのできるようにする
6	総探	社会科学	Inequality in Family ~ young carer with gender, discrimination against nationality~
7	数理探究	生活科学	日焼け止めと紫外線の関係
8	数理探究	化学	メントールによる防虫・冷却の効果について
9	ARⅡ	数学情報	七並べの戦略
10	ARⅡ	生物	トマトの追熟温度及び色調と糖度、グルタミン酸量の変化
11	自然科学部	化学分野	濃硫酸を使わないトリアリアルメタン系色素の合成

課題研究への取組と在り方生き方との 関連性に関する調査報告

本校の第Ⅲ期SSHでは、「課題研究を通して生きる力を育み、自分らしく生きられる生徒を育む」ことを研究開発の柱にしています。また、SSHの課題研究を3学科に拡充することに伴い、第Ⅰ期から実施してきた「理数に関するアンケート」を今年度「SSHに関するアンケート」として刷新しました。

このアンケートを、1・2年生を対象として、2月に実施しました。アンケートは、課題研究と在り方生き方について、それぞれ「関心性」「自律性」「計画性」の各種尺度と「SSH事業の有用感」を

尋ねる内容で構成されています。

課題研究関心性の調査から、いずれの学科・学年においても70～80%が課題研究に高い関心を持っていることが明らかになりました(図2)。

また、課題研究への自律性や計画性についても60%前後がポジティブな評価をしており、課題研究を通してこれらの資質・能力を向上させていることが推察されました。

これらのアンケートの具体的な内容や調査結果については、今年度のSSH研究開発実施報告書に記載する予定です。

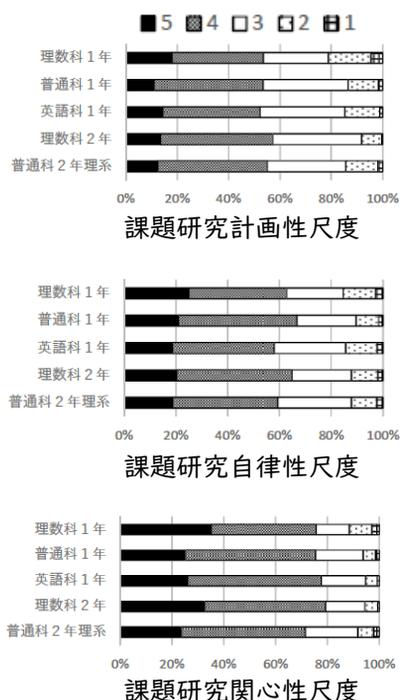


図2 課題研究に関する各種尺度

課題研究の計画性が高い人ほど 在り方生き方に関する各種スコアも高くなる！

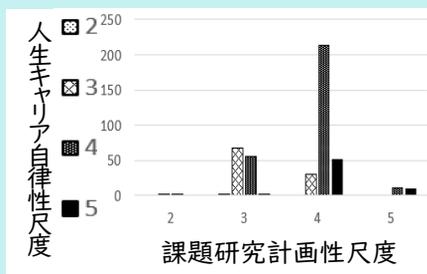


図3 課題研究計画性尺度と人生キャリア自律性のクロス集計

在り方生き方に関する各尺度(人生キャリア尺度)と課題研究の間の相関を調べるために各尺度のクロス集計を行いました。

その結果、課題研究計画性尺度は、人生キャリア尺度のいずれとも相関があることが分かりました。

見通しや目標を持って課題研究に取り組むことが、自身の人生を切り拓くことと繋がるかもしれません。

